

平成 28 年度

事業報告書

決算書

目 次

I - I. 平成 28 年度事業報告書	
1. 事業概況（平成 28 年度を振り返って）	3
2. 総 裁	3
3. 役員構成	3
4. 会員数	3
5. 会議等	4
6. 登記事項	5
7. 組織及び職員数	5
8. 恩賜発明賞・恩賜記念賞の贈呈	6
9. 発明奨励振興事業	6
(1) 全国発明表彰	6
(2) 地方発明表彰	7
(3) 戦後日本のイノベーション 100 選	7
10. 青少年創造性開発育成事業	8
(1) 第 75 回全日本学生児童発明くふう展	8
(2) 第 38 回未来の科学の夢絵画展	8
(3) 未来の科学の夢絵画展 ネット美術館	9
(4) 少年少女発明クラブ事業	9
(5) 地域活性化アイデア創作活動の実施	10
(6) 第 7 回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト	10
(7) 第 60 回東京都児童生徒発明くふう展	11
(8) 青少年創造性開発育成海外交流	11
(9) 発明の日及び科学技術週間協賛事業	11
(10) 青少年創造性開発育成委員会	11
(11) 青少年の創造性開発育成事業に関する協賛	11
11. 知的財産権制度普及等事業	12
国際知的財産保護フォーラム	12
12. 地域機関との相互連携	12
発明協会会長等懇談会（8 地方ブロック）	12
13. 関係省庁への協力	12
(1) 文部科学省表彰関係事業への協力	12
(2) 特許庁知財功労賞への協力	12
14. 東京発明推進協議会	12
15. 公益事業の広報活動	12
I - II. 事業報告書の附属明細書	
事業報告書の附属明細書	13
II. 平成 28 年度決算書	
貸借対照表	15
正味財産増減計算書	16
正味財産増減計算書内訳表	17
財務諸表に対する注記	18
附属明細書	19
財産目録	20
収支計算書	22
収支計算書（資金ベース）	23

I. 平成 28 年度事業報告書

1. 事業概況（平成 28 年度を振り返って）

当協会は、我が国科学技術の振興と産業経済の発展に寄与すべく、発明の奨励、青少年の創造性開発育成、知的財産権制度普及等の公益事業を着実に推進するため、平成 28 年度においても、皇室より御下賜金を拝受し、全国発明表彰においては恩賜発明賞を、全日本学生児童発明くふう展においては恩賜記念賞をそれぞれ最も優秀な発明及び作品に贈呈した。また、発明奨励振興事業においては、全国発明表彰及び地方発明表彰を実施し、さらに青少年創造性開発育成事業においては、全日本学生児童発明くふう展及び未来の科学の夢絵画展を開催するとともに、全国に展開している少年少女発明クラブの活動及び全国少年少女チャレンジ創造コンテストの拡充・強化を図った。なお、青少年創造性開発育成事業に対しては平成 28 年度も数多くの企業よりご事業を得ることができた。

また、創立 110 周年記念事業「戦後日本のイノベーション 100 選」においては、選定された全 105 のイノベーションを発表した。

以下、平成 28 年度の事業について報告する。

2. 総 裁 常 陸 宮 殿 下

3. 役 員 構 成 （平成 29 年 3 月 31 日現在）

会 長	1 名	（代表理事）
副 会 長	6 名	（内 1 名代表理事）
専務理事	1 名	（業務執行理事）
常務理事	1 名	（業務執行理事）
理 事	32 名	
監 査 役	2 名	
特別顧問	3 名	
顧 問	2 名	
参 与	3 名	
幹 事	149 名	

4. 会 員 数 （平成 29 年 3 月 31 日現在）

435 名

5. 会 議 等

(1) 定時総会

日 時 平成 28 年 6 月 15 日 (水) 13 : 15 ~ 14 : 00
場 所 ホテルオークラ東京 別館地下 2 階「アスコットホールⅡ」
議 題 <決議事項>
第 1 号議案 平成 27 年度事業報告及び決算承認の件
第 2 号議案 理事選任の件
<報告事項>
平成 28 年度事業計画及び同収支予算報告の件

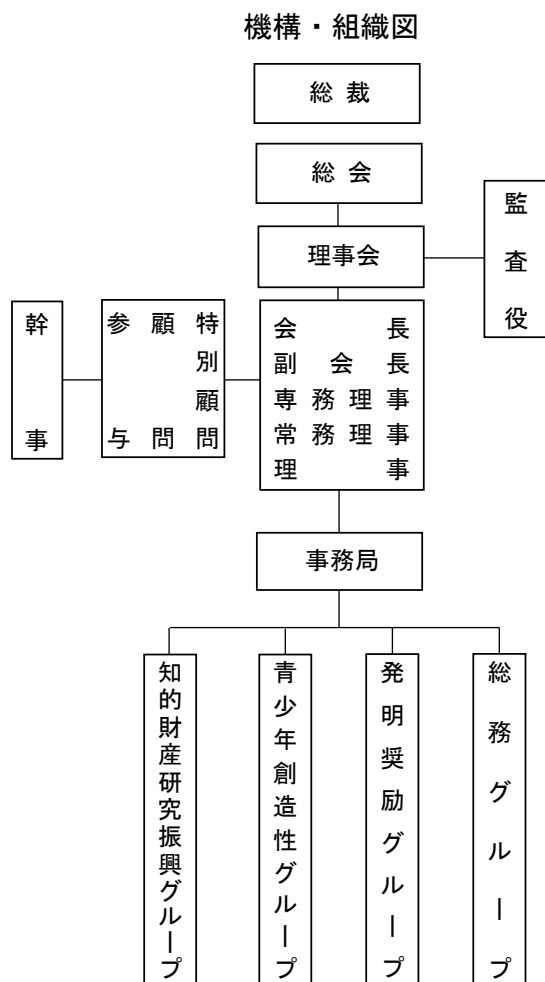
(2) 理事会

- ① 日 時 平成 28 年 5 月 19 日 (木) 12 : 00 ~ 13 : 30
場 所 霞山会館「霞山の間」
議 題 (1) 平成 27 年度事業報告及び決算 (案) について
(2) 理事選任 (案) について
(3) 定時総会の招集 (案) について
(4) 特定費用準備資金の設定 (案) について
(5) 幹事の推薦について
報告事項 (1) 代表理事等の職務執行状況の報告について
(2) 一般社団法人発明推進協会からの特定寄附受入について
(3) 平成 27 年度 青少年創造性開発育成事業に対する協賛企業一覧について
(4) 平成 28 年度 (公財) JKA 補助事業について
(5) 今後の主な行事予定
- ② 日 時 平成 28 年 6 月 15 日 (水) 14 : 05 ~ 14 : 15
場 所 ホテルオークラ東京 別館地下 2 階「アスコットホールⅢ」
議 題 (1) 会長、副会長及び専務理事の選定について
(2) 代表理事の選定について
(3) 特別顧問、顧問及び参与の推薦について
(4) 幹事の推薦について
- ③ 日 時 平成 29 年 3 月 21 日 (火) 12 : 20 ~ 13 : 20
場 所 霞山会館「霞山の間」
議 題 平成 29 年度事業計画・同収支予算 (案) について
報告事項 代表理事等の職務執行状況の報告について

6. 登 記 事 項

役員変更登記 平成 28 年 7 月 21 日 (木)
役員変更登記 平成 28 年 9 月 16 日 (金)

7. 組織及び職員数 (平成 29 年 3 月 31 日現在)



職員数 18 名

8. 恩賜発明賞・恩賜記念賞の贈呈

平成 28 年度全国発明表彰において、独創性に富む極めて優れた発明により我が国科学技術の振興と産業の発展に大きく貢献した発明者に恩賜発明賞を、また、第 75 回全日本学生児童発明くふう展において、最も優秀な作品の創作者に恩賜記念賞を贈り、その栄誉をたたえた。

○恩賜発明賞 「低圧縮比クリーンディーゼルエンジンの発明」

志茂 大輔 マツダ株式会社

金 尚奎 マツダ株式会社

片岡 一司 マツダ株式会社

○恩賜記念賞 「がんばれ日本」

小石川洋介 君津市立南子安小学校 4 年

9. 発明奨励振興事業

(1) 全国発明表彰

主催 発明協会

後援 文部科学省、経済産業省、特許庁、日本経済団体連合会、日本商工会議所、日本弁理士会、朝日新聞社

平成 28 年度は、46 道府県における発明協会(以下、「地域協会」という。)、企業、関係団体等からの推薦により、平成 28 年 1 月 28 日(木)から 3 月 11 日(金)にかけて意匠・電気・化学・機械及び 21 世紀専門部会を経て、平成 28 年 4 月 12 日(火)の選考委員会において、第 1 表彰区分として恩賜発明賞、内閣総理大臣賞等の特別賞ほか各賞を、第 2 表彰区分として 21 世紀発明賞及び 21 世紀発明奨励賞を選考した。

また、恩賜発明賞、内閣総理大臣賞等特別賞を受賞した法人の代表者に発明実施功績賞を、21 世紀発明奨励賞を受賞した法人の代表者に 21 世紀発明貢献賞をそれぞれ贈呈した。

表彰式は、平成 28 年 6 月 15 日(水)ホテルオークラ東京において、総裁常陸宮殿下並びに同妃殿下御臨席のもと、杉田内閣官房副長官、富岡文部科学副大臣、星野経済産業大臣政務官、伊藤特許庁長官をはじめとする来賓や各界から多数の参列者を得て挙行了した。

○第 1 表彰区分

恩賜発明賞	1 件 3 名	特別賞	9 件 27 名
-------	---------	-----	----------

発明賞	12 件 48 名	発明実施功績賞	9 件 9 名
-----	-----------	---------	---------

○第 2 表彰区分

21 世紀発明賞	2 件 7 名	21 世紀発明奨励賞	2 件 5 名
----------	---------	------------	---------

21 世紀発明貢献賞	2 件 2 名
------------	---------

○発明奨励功労賞 10 名

なお、恩賜発明賞の受賞者には畠山一清賞を贈呈し、特別賞、21 世紀発明賞及び 21 世紀発明奨励賞受賞者にはそれぞれ副賞を贈呈した。

(2) 地方発明表彰

- 主催 発明協会
共催 46 道府県発明協会
後援 文部科学省、特許庁、中小企業庁、各経済産業局、北海道、山形県、群馬県、三重県、兵庫県、島根県、高知県、大分県、日本弁理士会、工業所有権電子情報化センター

平成 28 年度は、地域協会から多数推薦された中から、平成 28 年 7 月 25 日（月）に開催した中央選考委員会及び 8 月下旬に各地方で開催した地方選考委員会において各賞を選考した。

表彰式は、平成 28 年 10 月下旬から 11 月下旬にかけて以下のとおり挙行し、計 467 件、1,354 名を表彰した。

・北海道地方発明表彰式	10 月 25 日（火）	北海道札幌市
・東北地方発明表彰式	11 月 8 日（火）	山形県山形市
・関東地方発明表彰式	11 月 10 日（木）	群馬県高崎市
・中部地方発明表彰式	11 月 22 日（火）	三重県津市
・近畿地方発明表彰式	11 月 28 日（月）	兵庫県神戸市
・中国地方発明表彰式	11 月 2 日（水）	島根県松江市
・四国地方発明表彰式	10 月 24 日（月）	高知県高知市
・九州地方発明表彰式	11 月 18 日（金）	大分県大分市

(3) 戦後日本のイノベーション 100 選

戦後日本で成長を遂げ、我が国産業経済の発展に大きく寄与したイノベーション 100 選に関し、平成 26 年度の第 1 回発表（高度経済成長期までの 38 イノベーション）に引き続き、選定委員会及び小委員会において選定された全 105 のイノベーションを平成 28 年 6 月 15 日に発表した。

10. 青少年創造性開発育成事業

(1) 第 75 回全日本学生児童発明くふう展

主催 発明協会

後援 文部科学省、経済産業省、特許庁、世界知的所有権機関、日本弁理士会、NHK、毎日新聞社、日本科学技術振興財団・科学技術館、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国高等学校長協会、全国工業高等学校長協会

平成 28 年度は、各地域で開催された発明くふう展等において優秀な成績を収めた作品を中心に地域協会より推薦された 768 点の作品について、平成 29 年 1 月 12 日（木）に審査幹事会、1 月 24 日（火）に審査委員会を開催し、恩賜記念賞、内閣総理大臣賞等の特別賞ほか各賞を選考した。

展覧会は、平成 29 年 3 月 22 日（水）から 3 月 26 日（日）まで、東京・北の丸公園内の科学技術館イベントホールにおいて開催した。

表彰式は、平成 29 年 3 月 22 日（水）科学技術館「サイエンスホール」において、総裁常陸宮殿下並びに同妃殿下御臨席のもと、田野瀬文部科学大臣政務官、小宮特許庁長官をはじめ来賓多数の参列を得て挙行了した。

3 月 24 日（金）には、皇太子同妃両殿下の行啓を賜り、両殿下は恩賜記念賞・特別賞受賞作品を御覧になった。

また、同展の開催にあわせて協賛企業等の協力により発明教室等を開催し、多数の児童生徒がものづくりや科学に親しんだ。

・第 75 回全日本学生児童発明くふう展入賞作品

○恩賜記念賞 1 点 ○特別賞 13 点 ○奨励賞 20 点 ○入選 122 点

(2) 第 38 回未来の科学の夢絵画展

主催 発明協会

後援 文部科学省、経済産業省、特許庁、国立科学博物館、日本弁理士会、NHK、朝日新聞社、朝日小学生新聞、朝日中高生新聞、日本美術教育連合、美育文化協会

平成 28 年度は、全国の小・中学校、幼稚園・保育園及び外国人学校の児童生徒を対象に作品を募集し、9,109 点の応募があった。平成 28 年 2 月 18 日（水）に審査委員会を開催し、文部科学大臣賞等の特別賞ほか各賞を選考した。

展覧会は、平成 28 年 4 月 12 日（火）から 4 月 24 日（日）にかけて東京上野・国立科学博物館において開催した。

表彰式は、平成 28 年 4 月 22 日（金）国立科学博物館日本館講堂において、文部科学省より黒澤振興企画課奨励室長、特許庁より米田総務部総務課長をはじめ来賓多数の参列を得て挙行了した。

- ・「小学校・中学校の部」

○特別賞	11点	○優秀賞	49点	○奨励賞	81点
------	-----	------	-----	------	-----
- ・「幼稚園・保育園の部」

○特別賞	1点	○優秀賞	5点	○奨励賞	40点
------	----	------	----	------	-----
- ・「外国人学校の部」

○特別賞	1点	○優秀賞	5点	○奨励賞	11点
------	----	------	----	------	-----

(3) 未来の科学の夢絵画展 ネット美術館

「未来の科学の夢絵画展」の受賞作品アーカイブ及びインドネシア・タイ・台湾の公益機関等から推薦を受けた青少年の絵画作品を掲載する「ネット美術館」を開設し、本絵画展等の成果を広く発信した。

(4) 少年少女発明クラブ事業

① 少年少女発明クラブ

次の世代を担う人材を育成するため、平成28年度は、全国214ヶ所の発明クラブ（約9,000名のクラブ員、約2,800名の指導員）において創造性を育成する活動を行った。

② 第79回少年少女発明クラブ全国会議

少年少女発明クラブの指導・運営に携わる関係者を対象に、効果的な指導方法に関する情報交換等を目的とした全国会議を東京都で開催した。併せて、「第7回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト全国大会」の視察を行った。

- ・開催日：平成28年11月25日（金）～26日（土）
- ・会場：発明会館ホール（全国会議）、東京工業大学（チャレンジ創造コンテスト）
- ・出席者：全国各発明クラブ会長、企画運営委員、指導員、地域協会担当者等 159名

③ 第80回少年少女発明クラブ全国会議

少年少女発明クラブの指導・運営に携わる関係者を対象に、青少年の創造性開発育成に関する諸課題について研究・討議する全国会議を開催した。

- ・開催日：平成29年2月24日（金）
- ・会場：発明会館ホール
- ・出席者：全国各発明クラブ会長、企画運営委員、指導員、地域協会担当者等 126名

④ 少年少女発明クラブ指導員表彰

少年少女発明クラブにおける指導活動に多年従事し、青少年の創造性開発育成に関し特に功績のあった指導員54名（32クラブ）を、第80回少年少女発明クラブ全国会議において表彰した。

⑤ 少年少女発明クラブ指導員研修会

少年少女発明クラブ指導員の資質の向上と情報交換を図るため、ブロック別研修会（6ブロック）及び都道府県別研修会（10箇所）を開催した。

⑥ 少年少女発明クラブニュースの発行

少年少女発明クラブにおける創意工夫活動の成果、各種イベントの告知・報告等を掲載した「少年少女発明クラブニュース」を隔月（計 6 回）で発行し、全国の少年少女発明クラブ、地域協会、地方自治体、科学館等を通じて広く一般に配布した。

⑦ 「はつめいキッズ」ホームページの運営

青少年の創造性開発育成活動の成果普及を図ることを目的に、少年少女発明クラブをはじめとした本事業全般を紹介するホームページ「はつめいキッズ」を運営した。

*本事業の①、②、⑤、⑥、⑦については、（公財）JKA 補助事業の一部として実施した。

(5) 地域活性化アイデア創作活動の実施

平成 28 年度は、山梨県都留市の知名度向上を図ることを目的に、都留少年少女発明クラブ員が地元の産業等を紹介する PR 作品を制作し、11 月 1 日から 3 日にかけて開催された都留市文化祭において発表を行った。

*本事業は、（公財）JKA 補助事業の一部として実施した。

(6) 第 7 回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト

主催 発明協会

後援 文部科学省、経済産業省、特許庁、日本弁理士会、NHK、読売新聞社、
東京工業大学、全国連合小学校長会、全日本中学校長会

特別協賛 荏原製作所

平成 28 年度は全国 82 地域で地区大会を開催し、640 チームが参加した。その結果を踏まえ、平成 28 年 9 月 29 日（木）にコンテスト委員会を開催し、全国大会に出場する 60 チームを選考した。

全国大会は、平成 28 年 11 月 26 日（土）東京工業大学屋内運動場（東京都目黒区）において開催し、各チームの「からくりパフォーマンスカー」による競技終了後、特別賞（文部科学大臣賞・特許庁長官賞）ほか各賞を選考し、関係官庁、関係団体等の参列を得て表彰式を挙行了した。

- ・第 7 回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト入賞チーム
 - 特別賞 2 チーム
 - 優秀賞 9 チーム

*本事業は、（公財）JKA 補助事業の一部として実施した。

(7) 第 60 回東京都児童生徒発明くふう展

東京都からの受託事業として、第 60 回東京都児童生徒発明くふう展を開催した。展覧会は東京国際フォーラム・ロビーギャラリー（東京都千代田区）において平成 28 年 12 月 16 日（金）から 17 日（土）にかけて開催し、特別賞 12 点、優秀賞 22 点、入選 56 点の計 90 点を展示した。

表彰式は、平成 28 年 12 月 17 日（土）に同会議室にて開催し、上記特別賞、優秀賞受賞者並びに学校賞受賞校 5 校を表彰した。併せて、第 60 回を記念して、本事業に貢献した 4 団体に対し感謝状を贈呈した。

(8) 青少年創造性開発育成海外交流

①中華人民共和国派遣団

中国教育国際交流協会の招聘により、平成 28 年 7 月 13 日（水）から 7 月 20 日（水）にかけて、第 73 回全日本学生児童発明くふう展及び第 5 回全国少年少女チャレンジ創造コンテストの各事業において優秀な成績を収めた青少年と当協会職員の計 16 名による「中華人民共和国派遣団」を結成し、ハルピン市で開催された「2016 世界青少年発明工夫展」に参加した（参加：10 ヶ国・地域、創作品 94 作品）。

②2016 発明奨励国際フォーラム

発明奨励団体間の国際的連携の促進を目的に、平成 28 年 7 月 16 日（土）に、中華人民共和国ハルピン市で開催された 2016 発明奨励国際フォーラム(International Forum for Invention Promotion : IFIP) に当協会役員を派遣した（参加：10 ヶ国・地域）。

*本事業は、(公財) JKA 補助事業の一部として実施した。

(9) 発明の日及び科学技術週間協賛事業

発明の日（平成 28 年 4 月 18 日）及び科学技術週間（平成 28 年 4 月 18 日～24 日）協賛事業として、当協会、地域協会及び全国の少年少女発明クラブにおいて公開発明教室、発明クラブ作品展、無料発明相談会等各種の協賛事業を行った。

(10) 青少年創造性開発育成委員会

創造性開発育成事業の拡充・強化等について審議を行うため、「第 36 回青少年創造性開発育成委員会」を平成 29 年 3 月 6 日（月）に発明会館会議室において開催した。

(11) 青少年創造性開発育成事業へのご協賛

当協会が行う青少年創造性開発育成事業について、広く産業界からの事業協賛を募り同事業の更なる充実を図った。

平成 28 年度においては、以下の協賛を得た。

- ・ゴールドスポンサー企業 12 社
- ・シルバースポンサー企業 10 社
- ・ブロンズスポンサー企業 19 社
- ・寄付企業 4 社

11. 知的財産権制度普及等事業

国際知的財産保護フォーラム

国際知的財産保護フォーラム（IIPPF）第4プロジェクトの幹事として、平成28年7月16（土）に東京都中央区教育センターにおいて「出張 IP カルチャー教室」の開催及び「真正品、模倣品・海賊版の展示」を実施した。また、平成28年9月17日（土）に東京都中央区教育センターにおいて、平成29年3月22日（水）から26日（日）に第75回全日本学生児童発明くふう展会場において、それぞれ「真正品、模倣品・海賊版の展示」を実施した。

12. 地域機関との相互連携

発明協会会長等懇談会（8地方ブロック）

全国で開催される地方発明表彰式にあわせ、平成28年10月中旬から11月中旬にかけて地域協会会長等との懇談会を開催し意見交換を行った。

懇談会は、北海道地方・10月25日（火）、東北地方・11月8日（火）、関東地方・11月10日（木）、中部地方・11月22日（火）、近畿地方・11月28日（月）、中国地方・11月2日（水）、四国地方・10月24日（月）、九州地方・11月18日（金）の日程で開催した。

13. 関係省庁への協力

（1）文部科学省表彰関係事業への協力

科学技術の振興と発明の普及に寄与するため、叙勲、褒章並びに科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞（開発部門、技術部門等）の表彰対象者の調査並びに推薦を行った。

（2）特許庁知財功労賞への協力

経済産業省・特許庁が実施した「知的財産権制度関係功労者表彰」並びに「知的財産権制度活用優良企業等表彰」の表彰対象者等の調査並びに推薦を行った。

14. 東京発明推進協議会

平成29年1月18日（月）に新年賀詞交歓会を開催し、会員、来賓等との交流を図った。

15. 公益事業の広報活動

当協会が行う各種公益事業について掲載する機関紙「月報はつめい」を配付するとともにホームページにおいて広報活動に努めた。

I - II. 事業報告書の附属明細書

平成 28 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 29 年 5 月
公益社団法人 発明協会

貸借対照表

平成29年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金及び預金	55,998,190	99,398,551	△ 43,400,361
未収入金	21,872,411	22,433,828	△ 561,417
預け金	2,074,061	2,983,705	△ 909,644
前払費用	1,062,153	1,062,153	0
流動資産合計	81,006,815	125,878,237	△ 44,871,422
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
世界展開催事業積立資産	22,000,000	20,000,000	2,000,000
青少年創造特定資産	6,000,000	6,000,000	0
退職給付引当資産	3,750,000	18,000,000	△ 14,250,000
特定資産合計	31,750,000	44,000,000	△ 12,250,000
(2) その他固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	31,750,000	44,000,000	△ 12,250,000
資 産 合 計	112,756,815	169,878,237	△ 57,121,422
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	11,861,024	10,500,531	1,360,493
未払金	51,470,389	87,056,925	△ 35,586,536
前受金	11,130,000	11,920,000	△ 790,000
預り金	790,265	630,939	159,326
流動負債合計	75,251,678	110,108,395	△ 34,856,717
2. 固定負債			
退職給付引当金	3,750,000	18,000,000	△ 14,250,000
固定負債合計	3,750,000	18,000,000	△ 14,250,000
負 債 合 計	79,001,678	128,108,395	△ 49,106,717
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	(33,755,137)	(41,769,842)	(8,014,705)
正 味 財 産 合 計	33,755,137	41,769,842	△ 8,014,705
負債及び正味財産合計	112,756,815	169,878,237	△ 57,121,422

正味財産増減計算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
〔1〕経常増減の部			
1. 経常収益			
(1) 御 下 賜 金	50,000	50,000	0
(2) 受 取 会 費	32,390,000	33,030,000	△ 640,000
(3) 事 業 収 益	3,361,851	3,435,648	△ 73,797
① 発 明 奨 励 振 興 事 業 収 益 (3,361,851)	(3,435,648)	(△ 73,797)
(4) 受 取 補 助 金 等	21,391,276	21,713,828	△ 322,552
① J K A 補 助 金 (21,391,276)	(21,713,828)	(△ 322,552)
(5) 受 取 寄 付 金 ・ 受 取 協 賛 金 等	253,595,777	279,777,220	△ 26,181,443
① 資 金 寄 付 収 益 (22,130,000)	(46,626,626)	(△ 24,496,626)
② 協 賛 金 収 益 (40,277,777)	(42,592,594)	(△ 2,314,817)
③ 資 金 寄 付 振 替 額 (20,920,000)	(20,290,000)	(630,000)
④ 特 定 寄 付 収 益 (170,268,000)	(170,268,000)	(0)
(6) 雑 収 益	180,657	194,433	△ 13,776
① 雑 収 益 (179,889)	(173,080)	(6,809)
② 受 取 利 息 (768)	(21,353)	(△ 20,585)
(7) 退 職 給 付 引 当 金 等 取 崩 額	18,000,000	0	18,000,000
経 常 収 益 計	328,969,561	338,201,129	△ 9,231,568
2. 経常費用			
(1) 事 業 費	292,245,936	284,213,951	8,031,985
① 発 明 奨 励 振 興 事 業 費 (160,185,911)	(166,149,819)	(△ 5,963,908)
② 事 業 人 件 費 (109,880,027)	(91,542,036)	(18,337,991)
③ 事 業 事 務 費 (22,179,998)	(26,522,096)	(△ 4,342,098)
(2) 管 理 費	44,738,330	32,729,676	12,008,654
① 人 件 費 (18,005,573)	(8,482,628)	(9,522,945)
② 事 務 費 (26,732,757)	(24,247,048)	(2,485,709)
経 常 費 用 計	336,984,266	316,943,627	20,040,639
当 期 経 常 増 減 額	△ 8,014,705	21,257,502	△ 29,272,207
〔2〕経常外増減の部			
(1) 経 常 外 収 益	0	0	0
(2) 経 常 外 費 用	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△ 8,014,705	21,257,502	△ 29,272,207
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	41,769,842	20,512,340	21,257,502
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	33,755,137	41,769,842	△ 8,014,705
II 指定正味財産増減の部			
(1) 受 取 寄 付 金	20,920,000	20,290,000	630,000
① 資 金 寄 付	20,920,000	(20,290,000)	(630,000)
(2) 一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 20,920,000	△ 20,290,000	△ 630,000
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0
III 正味財産期末残高	33,755,137	41,769,842	△ 8,014,705

正味財産増減計算書内訳表

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引消去	合計
	公1 発明奨励等	小計			
I 一般正味財産増減の部					
[1]経常増減の部					
1. 経常収益					
(1) 御下賜金	50,000	50,000	0		50,000
(2) 受取会費	16,195,000	16,195,000	16,195,000		32,390,000
(3) 事業収益	3,361,851	3,361,851	0		3,361,851
① 発明奨励等事業収益	(3,361,851)	(3,361,851)	()		(3,361,851)
(4) 受取補助金等	21,391,276	21,391,276	0		21,391,276
① JKA補助金	(21,391,276)	(21,391,276)	()		(21,391,276)
(5) 受取寄付金・受取協賛金等	253,247,809	253,247,809	347,968		253,595,777
① 資金寄付収益	(22,089,976)	(22,089,976)	(40,024)		(22,130,000)
② 協賛金収益	(40,277,777)	(40,277,777)	()		(40,277,777)
③ 資金寄付振替額	(20,920,000)	(20,920,000)	()		(20,920,000)
④ 特定寄付収益	(169,960,056)	(169,960,056)	(307,944)		(170,268,000)
(6) 雑収益	0	0	180,657		180,657
① 雑収益	()	()	(179,889)		(179,889)
② 受取利息	()	()	(768)		(768)
(7) 退職給付引当金等取崩額	0	0	18,000,000		18,000,000
経常収益計	294,245,936	294,245,936	34,723,625		328,969,561
2. 経常費用					
(1) 事業費	292,245,936	292,245,936	0		292,245,936
① 発明奨励等事業費	(160,185,911)	(160,185,911)	()		(160,185,911)
② 事業人件費	(109,880,027)	(109,880,027)	()		(109,880,027)
③ 事業事務費	(22,179,998)	(22,179,998)	()		(22,179,998)
(2) 管理費	0	0	44,738,330		44,738,330
① 人件費	()	()	(18,005,573)		(18,005,573)
② 事務費	()	()	(26,732,757)		(26,732,757)
経常費用計	292,245,936	292,245,936	44,738,330		336,984,266
当期経常増減額	2,000,000	2,000,000	△ 10,014,705		△ 8,014,705
[2]経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0		0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0		0
当期経常外増減額	0	0	0		0
他会計振替高	0	0	0		0
当期一般正味財産増減額	2,000,000	2,000,000	△ 10,014,705		△ 8,014,705
一般正味財産期首残高	20,000,000	20,000,000	21,769,842		41,769,842
一般正味財産期末残高	22,000,000	22,000,000	11,755,137		33,755,137
II 指定正味財産増減の部					
(1) 受取寄付金	20,920,000	20,920,000	0		20,920,000
① 資金寄付	(20,920,000)	(20,920,000)	()		(20,920,000)
(2) 一般正味財産への振替額	△ 20,920,000	△ 20,920,000	0		△ 20,920,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0		0
指定正味財産期首残高	0	0	0		0
指定正味財産期末残高	0	0	0		0
III 正味財産期末残高	22,000,000	22,000,000	11,755,137		33,755,137

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象または状況は存在しない。

2. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

退職給付引当金: 役員退職手当金については、役員の退職手当金支給に備えるため、規則に基づく期末要支給額を計上

(2) 消費税等の会計処理

税抜方式によっている。

3. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
世界展開催事業積立資産	20,000,000	5,000,000	3,000,000	22,000,000
青少年創造特定資産	6,000,000	0	0	6,000,000
退職給付引当資産	18,000,000	3,750,000	18,000,000	3,750,000
合 計	44,000,000	8,750,000	21,000,000	31,750,000

4. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
特定資産				
世界展開催事業積立資産	22,000,000	(—)	(22,000,000)	(—)
青少年創造特定資産	6,000,000	(—)	(6,000,000)	(—)
退職給付引当資産	3,750,000	(—)	(—)	(3,750,000)
合 計	31,750,000	(0)	(28,000,000)	(3,750,000)

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の 記載区分
補助金						
平成28年度公益事業振興補助事業	公益財団法人JKA	0	21,391,276	21,391,276	0	
合 計		0	21,391,276	21,391,276	0	

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金額
経常収益への振替額 資金寄付振替額	20,920,000
合 計	20,920,000

附 属 明 細 書

1. 特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載のとおりである。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当 期 減 少 額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	18,000,000	3,750,000	18,000,000	0	3,750,000

財 産 目 録

平成29年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)			
現 金	手元保管	運転資金として	1,833,186
預 金	当座預金(三井住友銀行本店営業部)	運転資金として	40,870,486
	普通預金(三井住友銀行本店営業部)	運転資金として	8,654,726
	普通預金(三井住友銀行本店営業部)	運転資金として	1,000,355
	普通預金(りそな銀行東京営業部)	運転資金として	1,774,615
	振替貯金(ゆうちょ銀行本店)	運転資金として	1,864,822
未 収 入 金	公益財団法人 JKA他	公益目的事業に係る補助金他	21,872,411
預 け 金	札幌中島少年少女発明クラブ他	公益目的事業に係る運営事業費として	2,074,061
前 払 費 用	株式会社発明会館	借室料として	1,062,153
流 動 資 産 合 計			81,006,815
(固定資産)			
特定資産			
世界展開催事業積立資産	普通預金(三井住友銀行本店営業部)	世界展開催に係る特定費用準備資金	22,000,000
青少年創造特定資産	当座預金(三井住友銀行本店営業部)	青少年創造性育成開発	6,000,000
退職給付引当資産	当座預金(三井住友銀行本店営業部)	退職給付引当金見合の引当資産	3,750,000
特 定 資 産 合 計			31,750,000
その他固定資産			
その他固定資産合計			0
固 定 資 産 合 計			31,750,000
資 産 合 計			112,756,815
(流動負債)			
買 掛 金	株式会社シグマコミュニケーションズ他	公益目的事業に係る展示設営費他	11,861,024
未 払 金	一般社団法人発明推進協会他	公益目的事業に係る出向料他	51,470,389
前 受 金	会員他	公益目的事業に係る会費他	11,130,000
預 り 金	芝税務署他	公益目的事業に係る所得税他	790,265
流 動 負 債 合 計			75,251,678
(固定負債)			
退職給付引当金	役員に対するもの	退職金の支払いに備えるもの	3,750,000
固 定 負 債 合 計			3,750,000
負 債 合 計			79,001,678
正 味 財 産			33,755,137

収 支 計 算 書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
〔1〕経常増減の部			
1. 経常収益			
(1) 御下賜金	50,000	50,000	0
(2) 受取会費	32,620,000	32,390,000	230,000
(3) 事業収益	3,497,000	3,361,851	135,149
① 発明奨励振興事業収益	(3,497,000)	(3,361,851)	(135,149)
(4) 受取補助金等	22,845,000	21,391,276	1,453,724
① J K A 補助金	(22,845,000)	(21,391,276)	(1,453,724)
(5) 受取寄付金・受取協賛金等	255,268,000	253,595,777	1,672,223
① 資金寄付収益	(14,000,000)	(22,130,000)	(△ 8,130,000)
② 協賛金収益	(50,000,000)	(40,277,777)	(9,722,223)
③ 資金寄付振替額	(21,000,000)	(20,920,000)	(80,000)
④ 特定寄付収益	(170,268,000)	(170,268,000)	(0)
(6) 雑収	100,000	180,657	△ 80,657
① 雑収	(100,000)	(179,889)	(△ 79,889)
② 受取利息	(0)	(768)	(△ 768)
(7) 退職給付引当金等取崩額	0	18,000,000	△ 18,000,000
経常収益計	314,380,000	328,969,561	△ 14,589,561
2. 経常費用			0
(1) 事業費	289,950,000	292,245,936	△ 2,295,936
① 発明奨励振興事業費	(166,452,000)	(160,185,911)	(6,266,089)
② 事業人件費	(97,432,000)	(109,880,027)	(△ 12,448,027)
③ 事業事務費	(26,066,000)	(22,179,998)	(3,886,002)
(2) 管理費	32,723,000	44,738,330	△ 12,015,330
① 人件費	(8,344,000)	(18,005,573)	(△ 9,661,573)
② 事務費	(24,379,000)	(26,732,757)	(△ 2,353,757)
経常費用計	322,673,000	336,984,266	△ 14,311,266
当期経常増減額	△ 8,293,000	△ 8,014,705	△ 278,295
〔2〕経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 8,293,000	△ 8,014,705	△ 278,295
一般正味財産期首残高	41,769,842	41,769,842	0
一般正味財産期末残高	33,476,842	33,755,137	△ 278,295
II 指定正味財産増減の部			
(1) 受取寄付金	21,000,000	20,920,000	80,000
① 資金寄付	21,000,000	(20,920,000)	(80,000)
(2) 一般正味財産への振替額	△ 21,000,000	△ 20,920,000	△ 80,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	33,476,842	33,755,137	△ 278,295

収 支 計 算 書(資金ベース)

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位:円)

No.	科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
	I 事業活動収支の部			
	1. 事業活動収入			
1	(1)御 下 賜 金	50,000	50,000	0
2	(2)会 費 収 入	32,620,000	32,390,000	230,000
3	(3)事 業 収 入	3,497,000	3,361,851	135,149
4	①発 明 奨 励 振 興 事 業 収 入 (3,497,000)	(3,361,851)	(135,149)
5	(4)補 助 金 等 収 入	22,845,000	21,391,276	1,453,724
6	①J K A 補 助 金 収 入 (22,845,000)	(21,391,276)	(1,453,724)
7	(5)寄 付 金・協 賛 金 収 入	255,268,000	253,595,777	1,672,223
8	①資 金 寄 付 収 入 (35,000,000)	(43,050,000)	(△ 8,050,000)
9	②協 賛 金 収 入 (50,000,000)	(40,277,777)	(9,722,223)
10	③特 定 寄 付 収 入 (170,268,000)	(170,268,000)	(0)
11	(6)雑 収 入	100,000	180,657	△ 80,657
12	①雑 収 入 (100,000)	(179,889)	(△ 79,889)
13	②受 取 利 息 (0)	(768)	(△ 768)
14	事業活動収入計	314,380,000	310,969,561	3,410,439
	2. 事業活動支出			
15	(1)事 業 費 支 出	286,557,000	290,558,861	△ 4,001,861
16	①発 明 奨 励 振 興 事 業 支 出 (166,452,000)	(160,185,911)	(6,266,089)
17	②事 業 人 件 費 (97,432,000)	(109,880,027)	(△ 12,448,027)
18	③事 業 事 務 費 (22,673,000)	(20,492,923)	(2,180,077)
19	(2)管 理 費 支 出	31,616,000	42,675,405	△ 11,059,405
20	①人 件 費 (8,344,000)	(18,005,573)	(△ 9,661,573)
21	②事 務 費 (23,272,000)	(24,669,832)	(△ 1,397,832)
22	事業活動支出計	318,173,000	333,234,266	△ 15,061,266
23	事業活動収支差額	△ 3,793,000	△ 22,264,705	18,471,705
	II 投資活動収支の部			
	1. 投資活動収入			
24	(1)特 定 資 産 取 崩 収 入	0	21,000,000	△ 21,000,000
25	投資活動収入計	0	21,000,000	△ 21,000,000
	2. 投資活動支出			
26	(1)特 定 資 産 支 出	6,500,000	8,750,000	△ 2,250,000
27	投資活動支出計	6,500,000	8,750,000	△ 2,250,000
28	投資活動収支差額	△ 6,500,000	12,250,000	△ 18,750,000
29	当期収支差額	△ 10,293,000	△ 10,014,705	△ 278,295
30	前期繰越収支差額	15,769,842	15,769,842	0
31	次期繰越収支差額	5,476,842	5,755,137	△ 278,295

以上の通り相違ありません。

平成29年5月16日

公益社団法人 発 明 協 会

会 長 野 間 口 有

平成28年度事業報告書及び財務諸表について監査した結果、いずれも適正かつ適法であることを認めます。

平成29年5月16日

監査役 梶 原 徳 二

監査役 安 井 義 博